

今月号の特集は「宮地元輝選手」と「前田将太選手」。お2人のレースではどこに注目すれば良いか、皆さんとざっくばらんに話したいと思います!



■宮地元輝選手について

まなみ 宮地選手は「勝ちに行く!」意思をピシバシ感じる漢気あふれる印象。一方、ミステリアスな一面もあり考えが読めないのが、賭ける時に迷いませんか? えいむ 確かに!でもそこが面白い(笑)。どんなポイントに注目したらいいですか? おじさんA 宮地選手といえはターンの鋭さ。インでも外からでも勝負になることが多いから、外枠でのスタートでも大波乱を期待して賭けると面白いよ。きほ え!外枠って普通は不利なんですよ? おじさんB そうだね、外枠は一般的には不利だけど、宮地選手のターン技術ならその不利を覆せる。外枠からのまくり差して勝つ瞬間は本当に胸が熱くなるよ。

■前田将太選手について

みゆき ドラマチック!私もそんな瞬間に賭けてみたい! おじさんA そこが醍醐味。宮地選手は外枠の時に高配当が期待できる。基本的にインが有利と言われるけど、彼なら外からまくって一発逆転してくれる可能性があるから、駆け引きを楽しむといよ。ゆきやばい!ターンの惹きつけられる(笑)。外枠で賭けるのも面白そうですね! おじさんB 宮地選手の印象的なレースは、22年ボートレース大村SGグランプリシリーズ優勝戦での得意の3コースからのまくり差し一閃でしたね。あれ以来、宮地ファン。彼のまくり差しは鮮やかでもはや芸術!あとファンサービスも嬉しい。今日は何を言ってくれるのだらうとワクワクさせてくれる選手です。

■おじさんA その通り!

前田選手は基本的にイン逃げが得意。インに入った時はほぼ固い勝負だから、手堅く賭けたい人におすすめ。おじさんB 1コースの時の3連単率は驚異の数字で、確実に舟券に絡む印象。1コースに入っている前田選手を外すことはあまりないね。きほ 魅力溢れる選手だから逆に外れた時も許せちゃいそう(笑)。おじさんA それもまた楽しみ方だね(笑)。おじさんB 前田選手の早いスタートタイミングも武器だね。平均が0.13なんだ。おじさんA インにいる時はオッズが低いことが多いけど、逆に外枠にいる時はまくり差しが狙い目。3号艇とかで彼が出ると、意外と波乱が起きるから見逃さないように! まなみん、賭けるときに迷いますね...。おじさんB 前田選手はSGやG1レースで強敵にまくり差しが決まって高配当を出す事もあるから、穴党ファンに好まれる選手だと思ふ。個人的には3コースか4コースからのまくり差しが魅力!レース展開を上手く読み、積極的に勝利をつかみにいくレーサーだね。

前田選手は基本的にイン逃げが得意。インに入った時はほぼ固い勝負だから、手堅く賭けたい人におすすめ。おじさんB 1コースの時の3連単率は驚異の数字で、確実に舟券に絡む印象。1コースに入っている前田選手を外すことはあまりないね。きほ 魅力溢れる選手だから逆に外れた時も許せちゃいそう(笑)。おじさんA それもまた楽しみ方だね(笑)。おじさんB 前田選手の早いスタートタイミングも武器だね。平均が0.13なんだ。おじさんA インにいる時はオッズが低いことが多いけど、逆に外枠にいる時はまくり差しが狙い目。3号艇とかで彼が出ると、意外と波乱が起きるから見逃さないように! まなみん、賭けるときに迷いますね...。おじさんB 前田選手はSGやG1レースで強敵にまくり差しが決まって高配当を出す事もあるから、穴党ファンに好まれる選手だと思ふ。個人的には3コースか4コースからのまくり差しが魅力!レース展開を上手く読み、積極的に勝利をつかみにいくレーサーだね。

ゆき 色々知ると勝っても負けても楽しい(笑)。奥が深いです!

- えいむ eim. @eimsinger** 熊本県出身のシンガーソングライター。ユニット「merry empty(めりーえんぶてい)」としても活動中。
- きほ kiho @angel_usol** eim.とともにユニット「merry empty(めりーえんぶてい)」として活動中。
- まなみ 桜まなみ(元LinQ) @manami_guitars** 福岡のアイドルグループ・LinQ1期生として2018年まで活動。現在はタレント事務所「サクラウサギエージェント」を立ち上げ、活動中。
- みゆき 今井 美由紀 @miuchan1114** 撮影モデルをきっかけに、現在はボートレータモデルとして福岡で活動中。
- ゆき はがゆき @hagayuki328** 佐賀県唐津市出身。マルチタレント。シンガーソングライター・MC・レポーター・モデルなど幅広く色んな分野で活動中。

Boat Beat Press

バックナンバーを振り返る! 第3弾

博多の大将 松田雅文選手特集 博多ん大将、気配りの人。

平成10年5月号のボートビートプレスのメイン記事は **福岡のレジェンド 松田雅文選手** の特集でした。

当時の記事では福岡支部レーサーたちの師弟関係、松田選手の面倒見の良さなどが垣間見えました。普段は厳しい環境下におかれ常に自身を律するレーサーが、オフに家族や仲間やその家族も交えて癒しの時間を意識的に作るようにしているというエピソードがとても素敵だと感じました。

山下昭雄選手・占部彰二選手・古賀勝則選手など同僚選手、友人や子供を連れて奥さんたち、皆が参加できるお花見やキャンプ・忘年会などイベントを年に数回開催されていたようです。遠征などで一緒に遊ぶ機会が少ない中で子供たちも全力で遊ぶ、仲間たちの絶えることのない笑顔があふれていたというエピソードがありました。

「松田選手は年に180日以上も闘いの日々を送るという。20歳からこの世界に入って以来、27年にわたって若手選手たちの追い上げを交わしながら独自のベースを保ってきた。その秘訣は「いい加減なことをしたくない」という信条と、よき友人たちとの交流。「こうやって、仲間たちと楽しく過ごすことは僕にとって1番のストレス解消になっています。今日、みんなと初めてソフトボールをやったんですが、みんなの生き生きした顔を見て嬉しくなりましたね。」

松田選手は当時、レースで多忙な中でもこの様な同期や友人たちとのイベント企画をととても大事にされていて、準備にはなんと1か月以上も前から、参加者集め・お酒や食事の準備・盛り上がるアイデアを色々考えるなど、皆を楽しませるエンターテイナーだったそう。お人柄が想像できる心あたたまるエピソードでした。